







2011年度第2四半期 決算説明

Rinnai

2011年11月4日

2011年度第2四半期 連結決算要点





国内・海外ともに堅調な需要。海外は為替影響で減収

営業利益:115.1億円 (前期比 3.7%増)

日本、オーストラリア、ブラジルが好調で増益

経常利益: 123.7億円 (前期比 4.8%増)

営業利益の改善により増益

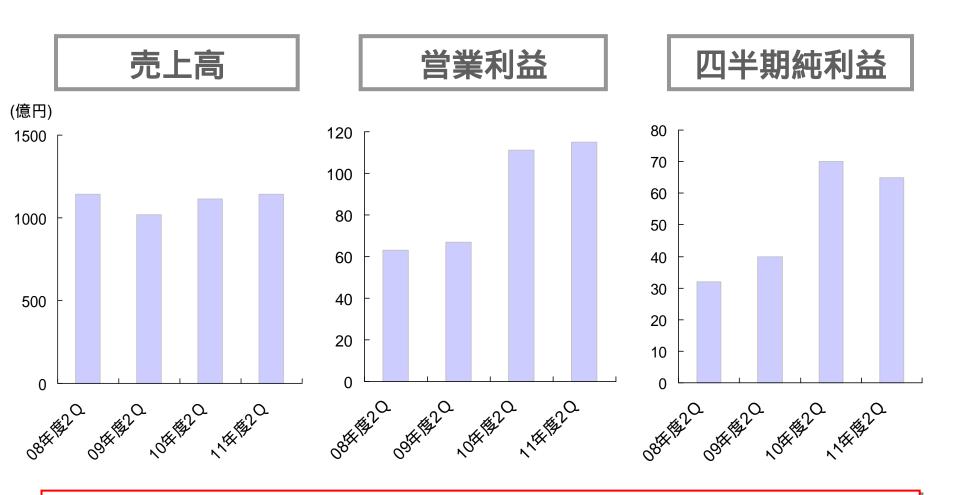
四半期純利益:65.7億円 (前期比 △6.3%減)

投資有価証券評価損を特別損失として計上し減益

- ・営業利益率10.1%は上期として過去最高
- ・中期経営計画「改革と躍進」 最終年度を順調に折り返し

連結業績推移(第2四半期)

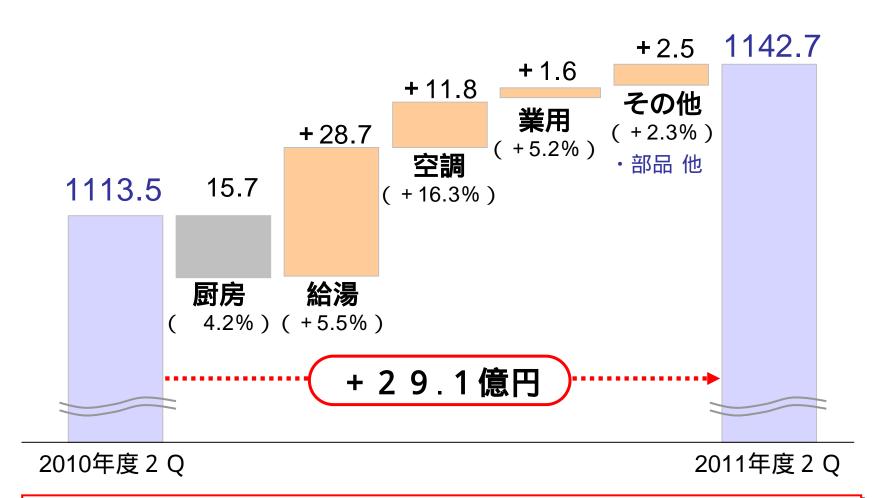




- ・売上は2期連続の増収、営業利益は6期連続増益で過去最高
- ・純利益は特別損失計上で減益も、本質的には増益基調を継続

2011年度第2四半期 連結売上分析(商品別) Rinnai

[単位:億円]



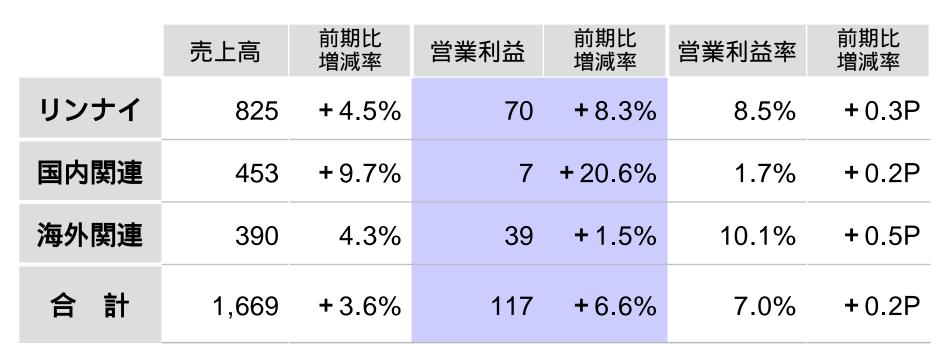
- ・厨房分野は震災後の流通混乱と安価商品の伸長でマイナス
- ・数量増加による給湯分野と空調分野の伸びが売上増を牽引

2011年度第2四半期 連結損益実績内訳



[単位:億円]

	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
連結	1,142	+2.6%	115	+3.7%	10.1%	+ 0.1P

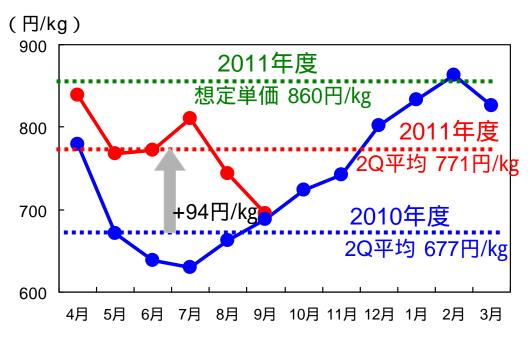


原材料価格の動向



電気銅の動向

- ・11年度の平均想定単価は860円/kg
- ・想定単価を下回り推移。



11年度2Q平均	771円/ kg
10年度2Q平均	677 円/kg
前年比増減率	+ 13.8%
使用箇所	給湯器 (熱交換器 等)

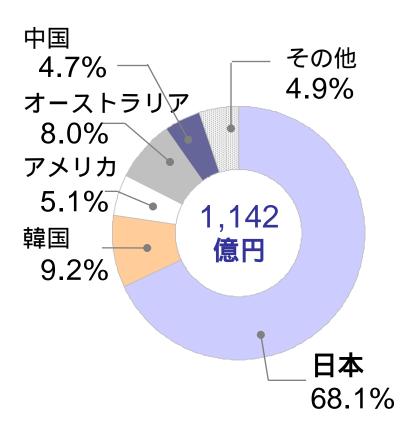
鉄鋼の動向

・鉄鋼材料は価格上昇 ⇒ 7月よりそれぞれ価格の値上げを反映 (平均単価が1割程度アップ)

連結売上高 セグメント別構成比



2011年度2Q 売上高

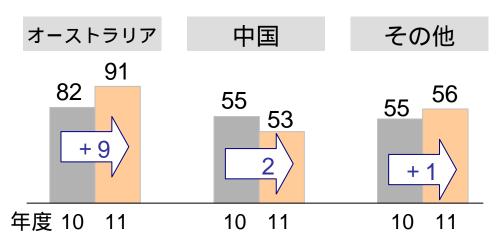


その他:台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

セグメント別前年比較







商品別売上実績(厨房機器)



[単位:億円]	10年度2Q	11年度2Q	前期比 増減率	商品構成比:31.7%
日本	321	309	3.5%	
韓国	33	29	13.4%	
アメリカ	0 (55万円)	0 (98万円)	+77.8%	The state of the s
オーストラリア	0	0	_	日本
中国	7	8	+13.4%	(C) (C)
その他	15	14	5.7%	韓国
合計	378	362	4.2%	
				中国

- ・国内は流通混乱と、安価製品へのシフトで売上が減少
- ・韓国では市場競争激化で売上減

商品別売上実績(給湯機器)



10年度2Q	11年度2Q	前期比 増減率	
307	341	+11.0%	
39	43	+ 8.5%	
64	53	17.4%	
34	39	+ 13.8%	
46	42	8.0%	
24	26	+7.2%	
518	547	+ 5.5%	
	307 39 64 34 46 24	307 341 39 43 64 53 34 39 46 42 24 26	10年度2Q 11年度2Q 增減率 307 341 +11.0% 39 43 +8.5% 64 53 17.4% 34 39 +13.8% 46 42 8.0% 24 26 +7.2%

商品構成比: 47.9%









アメリカ



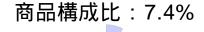
ナーストラリア

- •日本でのエコジョーズ比率の高まりが売上増に貢献
- アメリカは景気回復遅れの影響で台数が伸ばせず

商品別売上実績(空調機器)



[単位:億円]	10年度2Q	11年度2Q	前期比 増減率
日本	28	35	+ 26.0%
韓国	1	1	44.8%
アメリカ	3	4	+4.8%
オーストラリア	34	40	+ 17.3%
中国	0	0	_
その他	4	3	21.0%
合計	72	84	+ 16.3%





日本



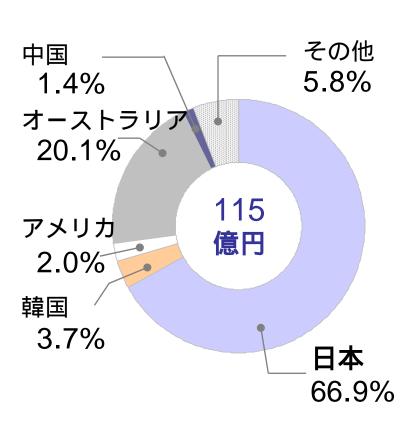
オーストラリア

- ・節電意識の高まりで、国内ガス暖房機器が大きく伸長
- ・オーストラリアのFF暖房機補助金制度が追い風で売上増

連結営業利益 セグメント別構成比

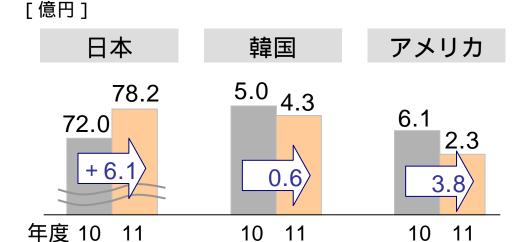


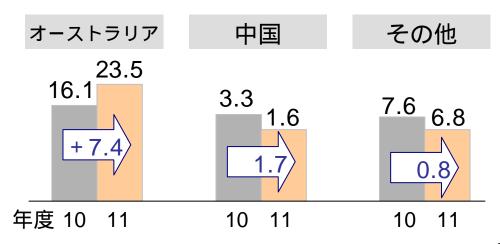
2011年度2Q 営業利益



その他:台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

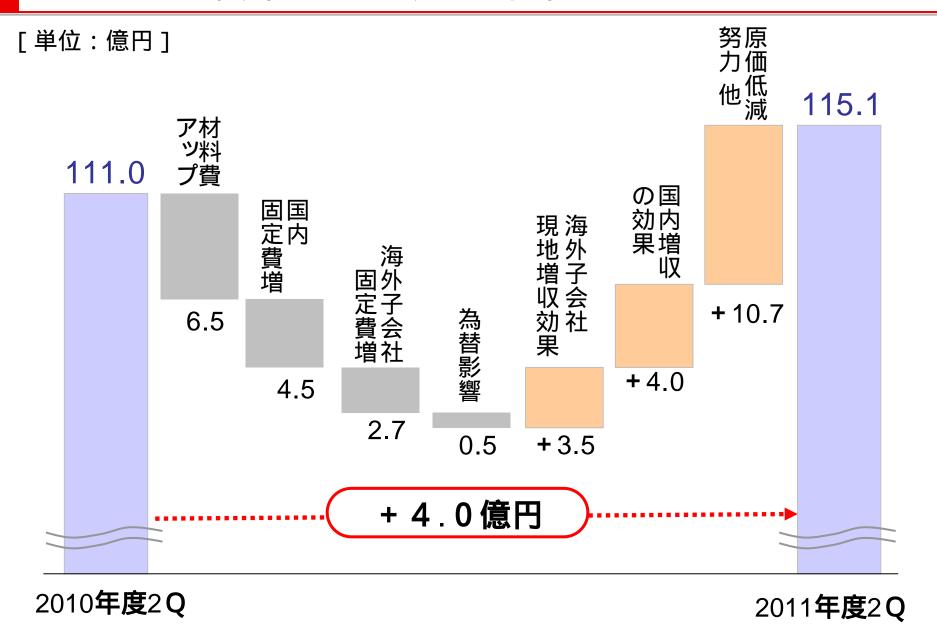
セグメント別前年比較





2011年度第2四半期 連結営業利益分析







本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。